

■オーストラリア：豪州が2019年に世界最大の家庭用蓄電池市場に

ブルームバーグ・ニュー・エナジー・ファイナンス（BNEF）社は2019年1月22日、オーストラリアが2019年に世界最大の家庭用蓄電池市場になるとの報告を発表した。BNEFの報告書によると、同国では2019年に家庭用蓄電池が前年比3倍の、7万軒以上に設置される見通しである。特に南オーストラリア州、オーストラリア首都特別地域（ACT）、ビクトリア州では、州政府の支援が蓄電池の導入を促進する大きな要因となっているとしている。同国州政府の補助は総額1億4,700万ドル規模（約160億円）で、加えて低金利融資やデマンドレスポンススキームなどによる支援が行われている。加えて、2019年5月に予定されている連邦総選挙で野党・労働党（二大政党の1つ）が勝利し、同党のビル・ショータン党首が掲げる2億豪ドル（約157億円）規模の補助が実施されることになれば、2020年以降にさらに10万軒の導入が追加される可能性さえあるとしている。前述のように、2019年の家庭用蓄電池の導入は州政府の支援策によって拡大する見通しであるが、BNEFはたとえ政策的な支援が終了しても、オーストラリアは引き続き家庭用蓄電池における魅力的な市場になると評価している。